

エポマリンJW グレー・黒 低温形

EPOMARINE JW for Low Temperature Gray・Black

一般名称	水道用液状エポキシ樹脂塗料												
適用規格	日本水道協会 JWWA K 135:2007												
系統	二液性溶剤形エポキシ樹脂系塗料 低温形												
主な用途	【タンク内面用】		など										
適用素材	<table border="1"><thead><tr><th>鉄</th><th>亜鉛めっき</th><th>アルミ</th><th>ステンレス</th><th>コンクリート</th></tr></thead><tbody><tr><td>○</td><td>×</td><td>×</td><td>○※</td><td>×</td></tr></tbody></table>	鉄	亜鉛めっき	アルミ	ステンレス	コンクリート	○	×	×	○※	×	※素地調整欄をご確認ください	
鉄	亜鉛めっき	アルミ	ステンレス	コンクリート									
○	×	×	○※	×									
特長	1)低温での乾燥性が優れている。 2)耐水性が優れている。 3)強靱で堅く、耐摩耗性に優れている。 4)上水に対して有害物の溶出がなく、日本水道協会 JWWA K 135:2007に規定する品質を満足する(認証取得済み)。 適用規格について(JWWA K 135規格が2007年12月に改正されました) ①JWWA K 135の認証を取得しているのは、グレー・黒の18kgセットのみです。 (グレー、黒の4kgセットおよびその他の色は認証を取得していませんので上水道施設に適用できません) ②使用上の注意事項の末尾★をご参照ください。												
塗料性状	塗料密度(比重)	1.31(グレー)											
	溶剤密度(比重)	0.86											
	加熱残分	68%(グレー)											
法令など		ベース	硬化剤										
劇物表示 (品名・含有率)		—	—										
労安法上の 表示有害物		キシレン、トルエン、メタノール メチルイソブチルケトン、 エチルベンゼン	キシレン、メチルイソブチルケトン 酢酸エチル、エチルベンゼン										
使用有機 溶剤種別		第2種有機溶剤等	第2種有機溶剤等										
消防法による 危険物区分		第1石油類(非水溶性)	第1石油類(非水溶性)										
硬化剤の成分 による区分		イソシアネート (トルエンジイソシアネート変性物)											
ホルムアルデヒド 放散等級		—											
製品情報		ベース	硬化剤										
荷姿	18kgセット	15.75kg	2.25kg										
混合比(重量比)		ベース:硬化剤=7:1											
主な色(色相)	グレー、黒												
素地調整	○被塗面は十分乾燥させ、汚れ等の不純物の付着がなく、清浄であること。 ○水洗により塩分、水溶性汚染物質を除去する。適切な洗浄剤や溶剤で、油やグリースを除去する。 ○詳細は塗装仕様書を参照ください。 ○鉄素材:ブラスト処理 SUS素材:スワイプブラスト処理 を実施してください。												
使用方法	調合方法	ベースに対して硬化剤を所定の割合になるまで少しずつかき混ぜながら加えたのち 下記のシンナーを規定内で混入し、十分攪拌したのち使用する。											
	熟成時間	不要 ※規格に規定があるものは、それに準拠してください。											
	使用シンナー	テクトEP JW低温用シンナー											
	希釈率(重量比)	エアレス: 0~5wt% ハケ・ローラー: 0~5wt%											
	エアレススプレー 塗装条件	2次圧 10MPa(100kg/cm ²)以上 チップNo. 163T-619~623 (日本グレイ社製)											

エポマリンJW グレー・黒 低温形

EPOMARINE JW for Low Temperature Gray・Black

使用量と膜厚

塗装方法	標準膜厚		標準使用量 注)
	Dry(μm)	Wet(μm)	g/m ² /回
エアレススプレー塗リ	100	225	500
ハケ・ローラー塗リ	60	125	240

注)標準塗付量は、個々の条件によって異なります。

乾燥時間 塗装間隔 可使時間

項目		5℃	10℃	15℃	20℃	30℃	35℃
乾燥時間	指触	2時間	1時間	30分	30分	20分	20分
	半硬化	10時間	8時間	6時間	6時間	2時間	2時間
標準塗装間隔 注)	最短	24時間	20時間	16時間	16時間	16時間	16時間
	最長	7日	7日	7日	7日	7日	7日
可使時間		5時間	4時間	3時間	2時間	1.5時間	1時間

注)上記数値は施工管理上の参考データです。規格に規定がある場合はそれを優先してください。

実施工においては塗膜異常がないことを確認したのちに、次工程塗装してください。下記の主な適用上塗塗料を塗り重ねる場合です。

作業禁止条件 気温 5℃以下、湿度(RH%)85以上

主な適用 下塗塗料	強溶剤:	—
	弱溶剤:	—
	ハイソリット:	—
	水性:	—
主な適用 上塗塗料	強溶剤:	エポマリンJW 低温形
	弱溶剤:	—
	ハイソリット:	—
	水性:	—

耐熱温度(大気バクロ環境) 弊社に問い合わせください。
(短時間とは、概ね1時間以内を目安としてください。)

施工管理 用特数値	希釈率(wt%)	SVR(%)	WET/DRY係数
	0	51.3	2.0
	5	47.7	2.1

【理論WET膜厚】=【目標膜厚】÷【SVR】 式または
【理論WET膜厚】=【目標膜厚】×【WET/DRY係数】式で
希釈率毎の管理WET膜厚が算出できます。
※SVR(Solid Volume Ratio)体積固形分であります。安全情報 ○安全情報に関する詳細な内容はSDS(安全データシート)をご参照ください。
○容器に記載している「安全衛生上の注意事項」をご確認の上、ご使用ください。
○塗料が皮膚につくと人によってはカブレを起こすことがあるので、皮膚につかないように取り扱いください。貯蔵条件 本製品は特に水分の影響を受けないように保管してください。
高温多湿環境・直射日光を避け、密閉した状態で冷暗所で保管ください。使用上の
注意事項 1)塗料取り扱い時、塗装中および養生中は換気を十分に行い、火気厳禁としてください。
2)被塗面の異物(研削材、ダスト、油脂汚れ、水分)や粉化物などは塗装前に除去してください。
3)素地調整はプラスト処理をご推奨いたします。プラスト処理ができない場合は弊社にお問い合わせください。
4)塗膜は十分に乾燥させてから上塗りしてください。乾燥が不足していると塗膜劣化(フクレ)の原因になります。
5)本塗料の適用は、原則として工場塗装です。工場出荷は通水後の水質、特に臭気を考慮して十分に乾燥して出荷してください。
6)大気バクロ部で使用した場合、黄変することがあります。
7)塗料のスプレーミストや蒸気に長時間接触(吸引)すると喉頭炎やぜんそく状発作を生ずることがあります。
また、塗料が皮膚につくと、炎症やかぶれを起こすことがあります。安全衛生上の取扱いについては
技術資料031(032)「エポキシ(ポリウレタン)樹脂塗料の使用上の注意」を参照してください。
8)塗料の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細は、SDS(安全データシート)を参照してください。
★JWWA K 135規格が2007年12月に改正されました。改正理由は、上水への溶剤臭の影響を避けるために塗膜の乾燥養生が十分に取れる工場塗装での
適用を原則としているためです。しかし、「水道施設の現場に本規格塗料の塗装は、受渡当事者間で合意を得れば、塗装できる」とあります。
※現場塗装される場合は、「通水後の水質、臭気に関して受渡当事者間で合意を得てください」。
9)JWWA K 135の規定による記載項目
理論塗付量:255g/m²(Dry100μmの場合)、塗装時及び塗膜硬化促進時の加熱温度範囲:設定なし(常温で使用する塗料のため)